

# 診断チャート

## オルタネーター / ALTERNATOR



自動車メーカーの整備整備マニュアルに診断チャートがある場合は、そちらをご参照ください。

### 簡易診断

・スターターの回転が悪い、始動しない。  
・室内ランプ/ヘッドライトが暗い。  
・ワイパー/ウインカーの点滅スピードが遅い。  
・インパネのチャージランプが点灯したままになっている。

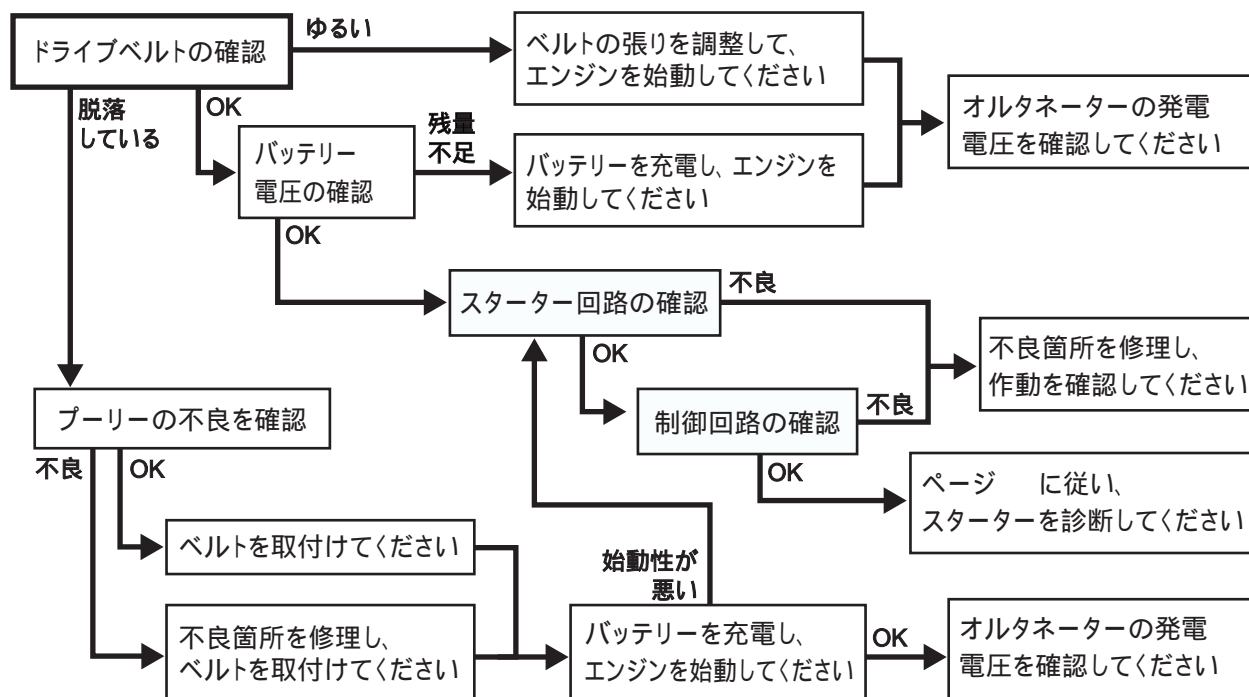
オルタネーターが  
充電不足です。下記の  
「診断フロー A」へ

・インパネの電圧計の読みが高い。  
・バッテリーから異臭がする  
・バッテリーから液が漏れている/膨張している。  
・室内ランプ/ヘッドライトが明るくなった/消えた。

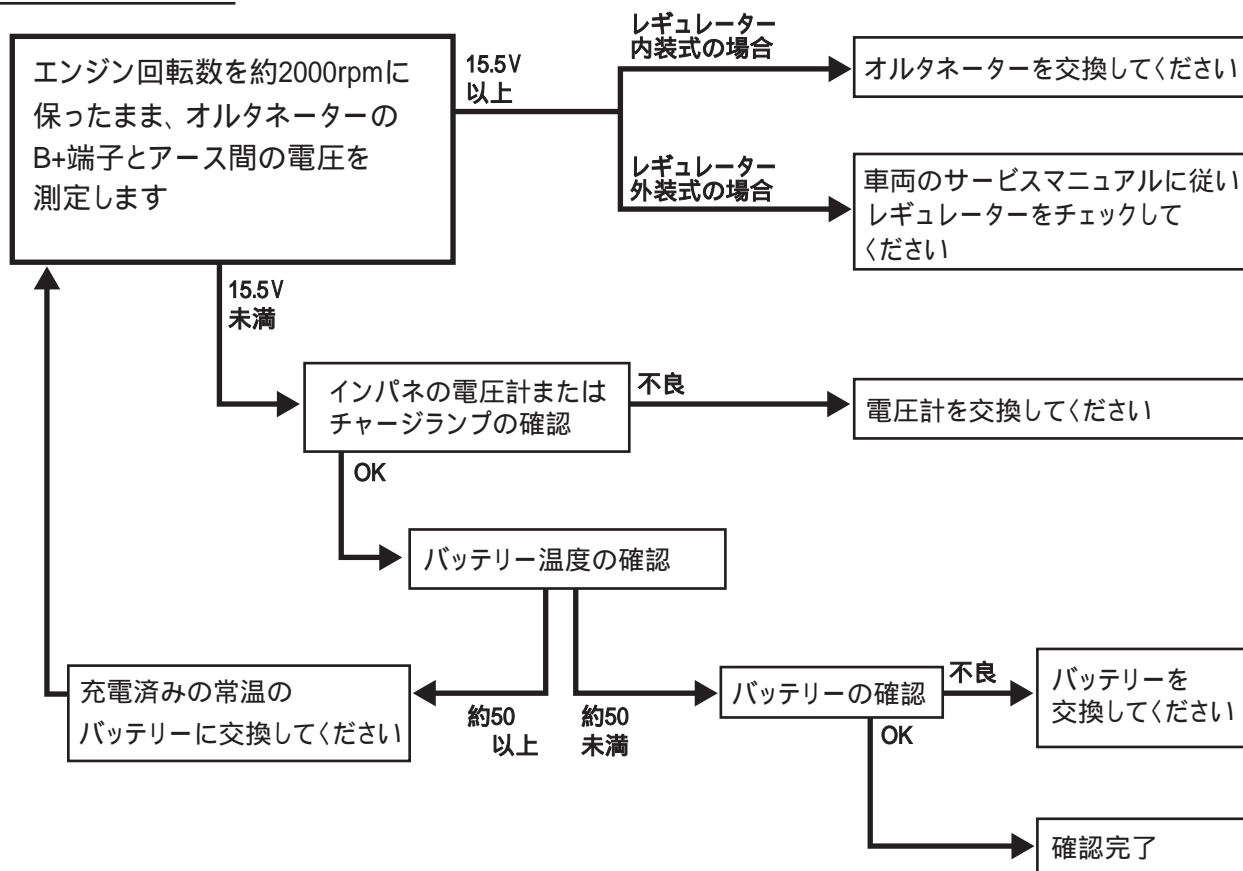
オルタネーターが  
過充電です。次頁の  
「診断フロー B」へ

### 診断フロー

#### 診断フロー A



## 診断フロー B



# オルタネーター交換にあたって

## 作業を行う前に必ずお読みください

### 重要

- オルタネーターの取り外し/取り付けは、自動車メーカーの整備マニュアルの指示に従って行ってください。

### 危険

- **必ずイグニッションスイッチをOFFまたはLOCKにし、バッテリーマイナス端子を外して作業を行ってください。**  
**事故や感電、火災の原因となります。**
- **バッテリーマイナス端子の外し方については、自動車メーカーの整備マニュアルの指示に従って行ってください。**

### 注意

#### 【オルタネーター取り付けの前に】

- 作業前に、交換するオルタネーターのタイプ/アンペア数/形状が、車輻に付いていたものと同じであることをご確認ください。
- 作業前に、バッテリーテスターを使用してバッテリー点検を行い、補充または交換を行なってください。
- ハーネスを外す際にはケーブル部分を持たず、必ずコネクター部分を持って引き抜いてください。
- ハーネスを点検し、ケーブルやコネクターに損傷がある場合は交換してください。
- コネクターの接触面を清掃し、湿気や汚れ・腐食を防ぐため接触面に保護剤を塗布してください。
- ベルトを点検し、損傷がある場合は交換してください。
- 車輻側にチャージランプリレー、ボルテージレギュレーターが付いている車種は、同時に交換してください。

#### 【オルタネーター取り付けの作業時に】

- 自動車メーカーの整備マニュアルの指示に従って、適切な締め付けトルクで取り付けを行ってください。

#### 【オルタネーター取り付けの後に】

- しばらくエンジンを運転させた後、自動車メーカーの整備マニュアルの指示に従ってベルトの張力を調整してください。
- 無負荷状態でエンジン回転数を変更させ、バッテリー電圧が13.5V～15.1Vに制御されていることを確認してください。